

視点

東日本大震災から1年を経て

日本私立学校振興・共済事業団

理事長 河田 悌一



私学事業団では、私学の振興並びに加入者に対する年金・福祉の事業をおこなっております。

そのため、①被災した園舎の復旧事業・経営資金への長期低利の特別融資の実施、②被災した私学と支援の意思のある個人・企業などを寄付金という形で結びつける「私学支援ポータルサイト」の新設、③加入者への見舞金など給付事業の迅速化・効率化をおこなうとともに、④昨秋には、役職員を動員して被災三県のはほすべての幼稚園、二九五法人へお見舞に出向き、現地の生の声を聞いてまいりました。

本年は、これらのことを十分に踏まえながら、山積する多くの課題の解消に向けた対応を引き続きおこない、被災法人や被災者に対する「心遣い」「思いやり」を忘れることなく、幼稚園の復興に最大限の支援をしていく覚悟であります。

被災地の一日も早い復興を願うとともに、そのための努力を私ども私学事業団はすべての役職員が心を一つにして続けてまいりたい——と、考えております。

昨年3月11日の東日本大震災は、想像を絶するものでした。

震災以降、幾度か被災地を訪問した私の眼底には、震災の傷跡の生々しい街並みが、つよく焼きついていきます。それだけに、今回の大震災で被害をうけられた方々、とりわけ、大きく被災された幼稚園関係の皆様

に、心からお見舞を申し上げます。訪問したなかで最も印象的だったのは、宮古市の幼稚園でした。道路は清掃されていました。だが、園内には瓦礫の山が築かれ、津波の破壊力、自然の猛威に驚愕しました。

ご夫婦で運営しておられる幼稚園でありましたが、津波で被災しながらもご父母の協力をえて、浸水した園舎や園庭を片付け、園を再開しておられました。そのたくましさ、園長先生ご夫妻そして先生方の園児に対する愛情、園児たちの無邪気な表

情に、無事で良かったとの想いを、心底から抱きました。

しかし、4月から入園を楽しむにしていた幼児が犠牲になったこと、職員にも犠牲になられた方がいらしたことを聞き、胸が痛みました。

あれから1年、被災された方々のかには、仮設住宅へ入居された方、故郷を離れた方、家族と離れて生活せざるをえない方など、大震災で生活環境が一変。その苦しみ、悲しみは計り知れぬものと推察いたしております。

震災当初は津波がクローズアップされましたが、現在は原発事故による放射性物質の汚染被害の重大さが明らかにあります。

そうした状況下で、復興に向けた街づくりの青写真がなかなか描けず、そのため、被災地における幼稚園経営の将来像までもが不透明に

なっています。

次の世代を育てる重要な教育機関である幼稚園は、規模が小さく家族で運営している法人も多数あります。大規模な大学と違ってその地域に根ざした教育・運営をおこなっており、いわば、地域の絆の拠点でもあります。

けれども、義務教育ではないため、今回のような大災害では入園を見送る家庭も数多くあるのではないかと思います。さらに避難による園児の減少が幼稚園の収入を激減させるだけでなく、復旧費用が莫大な金額となり、事業継続の判断を迫られ、教職員を解雇せざるをえないケースもあるのではないのでしょうか。

その状況は想像を絶するものがあります。事業継続の断念に至らぬまでも、当座の運営資金に窮している幼稚園も多く存在しています。

特集。東日本大震災から1年を経て



平成23年3月11日14時46分頃に三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生しました。

この地震により宮城県栗原市で震度7、宮城県、福島県、茨城県、栃木県で震度6強を観測したほか、北海道から九州にかけて広範囲で揺れを観測しました。またこの地震に伴い、太平洋沿岸を中心に非常に高い津波を観測。特に東北地方から関東地方の太平洋沿岸では津波によって甚大な被害を受けました。

この地震による死者15853名、行方不明者3286名（2月22日現在、消防庁・警察庁公表資料）。全日私幼連加盟園では、園児71人（岩手10、宮城57、福島4）、教職員3人（岩手1、宮城2）が死亡、園児4人（岩手1、宮城3）、教職員3人（岩手2、宮城1）が行方不明。（平成23年7月15日現在・全日私幼連調べ）。

さらに、津波により被害を受けた東京電力福島第一原子力発電所では、放射性物質の漏洩を伴う重大な原子力事故に発展し、原発のある浜通り地域を中心に、周辺一帯の福島県住民は長期の避難を強いられることになりました。また、液状化現象、地盤沈下等により、各種ライフラインが寸断されるなど、東日本大震災では広大な範囲で被害がありました。

* *

今号では、「東日本大震災から1年を経て」と題して特集を組みました。この特集を通して、一人ひとりの3・11を振り返るとともに、被災地への長期的な復興・復旧の支援につながることを願います。

（調査広報委員会）

特集 東日本大震災から1年を経て



東日本大震災に学ぶ

全日本私立幼稚園連合会

会長 香川 敬

3月11日14時46分、東京ガーデンパレスで全日私幼連理学会を開催中、大きな揺れを感じて会議を中断し屋外に避難した丁度その時、東日本に未曾有の被害をもたらす地震や津波が発生しようとは思ってもありませんでした。直ちに災害対策本部を設置。爾来、被災地の幼児教育の早期復興に向けて、国や関係機関と連携を密にしながら、被災された園児、保護者、教職員、幼稚園への支援に努めてきました。

児教育に取り組んでいくことが私たちに求められています。

一つ目は、子どもの命を預かる重要な職責を担っていることを改めて自覚し、使命感をもって幼児教育にのぞみたいということです。

二つ目は、今も、急性ストレス障害や外傷後ストレス障害に苦しむ子どもがいます。子どもは様々な願いをもち生活しています。一人ひとりの実態に即したきめ細かな教育・保育を進めていくことです。

三つ目は、「絆を大切にする教育」の推進です。大震災を契機に、世界中の人が絆の大切さに思いを馳せながら、共に生きるための最大の努力を続けています。幼児教育も然り、乳幼児期から人とかわる力を育むとともに、地域のコアとしての幼稚園、づくりに取り組んでいきたいものです。

また、全日本私立幼稚園連合会の東日本大震災への対応活動につきましては、次の関係企業の皆様等から義捐金または支援物資という形でご支援をいただきました。

関係企業の皆さまにも謹んで御礼申し上げます。誠にありがとうございます

- ▼(株)朝日エル▼協同新聞出版発送所
- ▼ひかりのくに(株)▼(株)チャイルド本社▼(株)ジャクエツ▼(株)学研教育みらい▼(株)フレールベル館▼(株)世界文化社
- ▼指吸会計センター(株)▼プリダストンサイクル(株)▼東京海上日動火災保険(株)▼三井住友海上火災保険(株)▼エース損害保険(株)▼(株)損害保険ジャパン▼「小さな太陽」制作関係者▼(株)デトックスブレイン・ホリスティックコンサルタンツ▼Autism Research Institute Director Stephen Edelson (Mr.) ▼(株)ファースト・コンサル▼中村被服(株)▼斉藤段ボール(株)▼京文社▼(株)バルコムモーターズ山口本店▼(株)アースクリエイト▼ロット健康産業株式会社▼その他個人様(順不同・敬称略)

東日本大震災にかかる

義捐金ご協力のお礼

全国から寄せられた義捐金も総額5億5千万円を超える額となり、物心両面からの支援に役立たせていただきました。これも偏に、少しでも多くの地域で良質な幼児教育の機会が速やかに確保されることを祈念される皆様方の気持ちの表れと拝察し、心からお礼を申しあげます。

東日本大震災を機に、自らの歩みを振り返り、新たな決意をもって幼

このたびの東日本大震災にかかる義捐金につきましては、全国の保護者の皆さま、私立幼稚園の設置者・園長、教職員の皆さま及び各都道府県私立幼稚園団体から大変多くのお心のこもったご厚志を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。

お陰をもちまして総額5億5千300万円を超える義捐金(553,327,257円・平成24年3月2日現在)が集まりました。全日私幼連災害対策本部会議において配分を迅速に決定し第6次配分まで執行いたしました。

なお、平成24年3月31日までに寄せられた義捐金については、福島県原発事故対応へ拠出させていた

(全日私幼連総務委員長・中浦正吾)



幼稚園の復興を記録映画に

(財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

理事長 田中 雅道

昨年3月11日東日本を襲った大震災・大津波によって生じた災害に対して、全国の私立幼稚園の皆さま方から温かいご支援をいただきましたこと感謝申し上げます。地震被害だけでなく、原発問題が大きいのかは険しいものがありますが、これは

後も継続した支援を行なっていきます。ようよろしくお願いします。

さて、本財団では、この大震災に立ち向かって「私学の精神」をいかなく發揮しておられる先生方の記録を残したいという思いで、現在記録映画の撮影を行なっています。

第1巻として岩手県大槌町「おさ

なご幼稚園」と「みどり幼稚園」の復興ならびに地域の中で私立幼稚園が果たした大きな役割を記録したものが完成しました。その中で、津波で大きな精神的ダメージを受けた子どもたちの心を癒すために、幼稚園が「いつもの幼稚園」として再開され、いつもの仲間といつもの先生との生

「いのちを大切にする日」制定へ

全日私幼連

全日私幼連では、卒園や修了を迎える年度末の一日を、園児とともに教職員や保護者・関係者によって、「いのち」の貴さに向きあう中で「いのち」あることに感謝するとともに、3月11日の出来事に思いを寄せる日を「いのちを大切にする日」と制定しました。

この「いのちを大切にする日」は、3月11日を含む1週間を毎年、全日私幼連が設定周知し、各園ならびに各団体に主体的に取り組むこととします。各園の実情により日程を決定の上、お取り組みいただいても結構です。

また、具体的な取り組み内容については、それぞれの幼稚園の教育理念や地域の実情等により、各幼稚園において定めるものとします。

【取組内容(例)】

▼「いのち」について考えるきっかけになる絵本等を読む▼自分が生まれた時のおとうさん、おかあさん、家族の思いを伝えてもらう▼おべんとうや給食時に、食事をいただくということは動植物の「いのちをいただく」ことでもあることへの気づきを促す……など

活がいかに大きな力があるのかを記録として残すことができました。4月には都道府県団体に配布できる予定ですので、先生やPTAなど保護者の方々に見ていただき、幼児教育の持っている力を少しでも感じていただければ幸いです。大いに活用して頂きますことを願っています。

続けて、被災された幼稚園の園長先生や教職員の方々の証言をもとにして、想定外の大災害が起こったときに、それぞれの先生方は現場で何を悩み、何を考えたかの記録を編集中です。予算の制約があり都道府県に配布して教職員研修に活用していただけるのは少し先にはなりますが、ご活用ください。もう一つは、福島県原発被災者の復興の過程を追っています。運動場で遊べない子ども、原発の近くに在って地震発生以来、立ち入ることのできない幼稚園の記録など少しの長い視点で記録に残していきたいと考えています。

被災された先生方や保護者の方々の貴重な体験を皆様方と共有でき、息の長い支援活動が継続されますことを祈っています。

(京都市京都市・光明幼稚園)

全国からのご支援に感謝

岩手県私立幼稚園連合会会長 坂本 洋

昨年の東日本大震災津波の発生は、尊い多くの生命の犠牲と日常的な社会基盤の壊滅的被害をもたらしました。特に岩手県内沿岸部の私立幼稚園関係者の多くの方々が物心両面の甚大な被災に遭われました。

私ども団体としては、県内被災園に対し微力ですが、一日も早い平常運営復旧のため被災状況のひどい同僚園へはボランティアを募り復旧作業に汗を流しました。同時に全日本私立幼稚園連合会加盟園からの多大な義捐金をお見舞いとして託され、

早期復旧にと県連第3次配分まで行ない、また、岩手県内の震災による遺児、孤児への今後の就学支援として、「いわて学びの希望基金」へ全日私幼連のご厚情により岩手県連として3千万円を拠出金としてご寄付することができました。ひとえに加盟園の温かいご支援の賜物で心から感謝を申し上げる次第です。

その結果、被災後約一年を経過し建物半壊以下の被災園はほぼ平常運営に復しました。しかし、全壊施設の復旧は困難を極めております。同時に心のケアを要する事例等については今後とも長い目で見守りを進めることにしております。

また、当時を検証し今後の危機状況対応については、沿岸部津波対応は殆どが二次避難を余儀なくされた実態があり、それが園独自の状況判断より消防署員等の判断指示によることも分かり、今後のマニュアル改善に結びつく事例としてまとめつつあります。

なお、岩手県教育委員会は事例検証から、津波警報発令の場合は、児童を迎えにきた保護者に直ぐ引き渡さないことを基本とする対応を決定しております。

大震災復旧、復興には、まだ時間

がかかるでしょうが県連一体となり共に私立幼稚園の充実発展、そして被災された同僚園への一日も早い復興を念じ尽力してまいりたいと思っております。

(岩手県盛岡市・盛岡幼稚園)

大災害の体験を後世へ

宮城県私立幼稚園連合会理事長 村山 十五

短いようでもあり長く感じられた1年でした。全国からさまざまな形でご支援を頂きました。改めて御礼申し上げます。

さて、津波で全壊した幼稚園のうち、未だ再開できない幼稚園が1園、地区の公民館等を借りて再開している幼稚園が3園、姉妹園の一室で再開している幼稚園が2園あります。

震災前に幼稚園があつた周辺はすべて更地になり、町の復興計画を待っている状況にあります。この6園の復興は2年あるいは3年先になることが予想されます。県団体としてもできる限りの支援をと考えています。

平成24年1月中旬に津波で被災した幼稚園の主任の先生方7人から震

災当日の様子を聞く機会がありました。A園は、震災当日、園長不在で避難方法や保護者への連絡など、すべてが主任の判断で行なったという報告がありました。かなり多くの幼稚園で同じような事例が報告されております。また、津波が来ているのに津波とわからずに立ち尽くしてしまつたとか、幼稚園に3日間寝泊まりし、自宅に帰つたら家が流されていたとか、あるいは、近くの住民が幼稚園に避難してきて食料やトイレの対応に追われた等、当日の混乱ぶりが涙ながらに報告されました。

今回の大災害を後世に伝える責務は、我われ大人ばかりでなく、体験したすべての園児がこれから生まれ

被災県団体長からの報告

てくる子どもたちに語り伝えることができればと願っています。

平成24年度の県団体の事業として、各園の被災状況や復旧後の写真

を掲載した震災報告集を作成し、関係者に配布したいと考えています。

今後の防災対策の一助になれば幸いです。
(宮城県仙台市・村山学園)

園児激減が深刻な課題

福島県全私立幼稚園協会 理事長 関 章信

3月11日東日本大震災から1年を迎えようとしています。

3月12日には東京電力福島第一原子力発電所が爆発し、福島県全体が大きな不安に襲われました。

全国からは救援物資が運ばれ、義捐金、励ましのメールをいただきましたこと、あらためて御礼と感謝を申し上げます。

津波による全壊2園は、4月に入りそれぞれ再開致しました。

原発事故による20km圏内の警戒区域4園は現時点では再開のめどが立っていません。そのうち1園は、廃園になった園舎で避難している子ども数名を預かり、9月よりキッズセンターを開設しました。30km圏内の避難準備区域内の3園のうち2園が10月再開しましたが、園児は避難

とができず、また、年間を通して屋外での栽培活動、遠足、園外保育を中止し、運動会は体育館等で行なってきました。屋外で遊べない状況で園児の体力低下が心配され、各園とも屋外あそびに代わるものを屋内でいろいろ工夫し、特に園児の不安感を解消するうえで園児同士の触れ合い遊びを多く取り入れています。

一年を振り返って、園庭での自由な遊びができないことから、園児の運動機能や体力の低下が観察されます。また、園庭、園外での活動が疎外された結果、園児の造形的表現に変化が表れていることも観察されます。数値で測定できない子どもの内面のストレス等が今後どのように変化するか調査する必要があります。
(福島県福島市・福島めばえ幼稚園)

はかりしれないご支援に深謝

茨城県私立幼稚園連合会 会長 橋本 幸雄

東北地方太平洋沖地震につきまじ

ては、全国の方々、特に私立幼稚園関係者の皆様から、はかりしれないご支援と力強い激励をいただき深謝

たことは、不幸中の幸いでありました。

復旧・復興について、現在も県担当課の支援と協力を仰ぎながら、緊密に連携をはかりつつ懸命に取り組んでおりますが、復興計画、復旧作業等の遅れで、いまだ数園が仮園舎での保育活動を行なっており苦しんでいます。

さらに、本県では東京電力福島第一原子力発電所から出る放射能被害の問題も深刻化し、各園では大変苦慮していますが、皆様からの心温まる義捐金の一部を放射能測定器の購入に活用させていただき、園児や保護者に対する安全・安心の確保に大変役立っております。

ひとたび大きな災害に遭うと、昨日までの環境が一変してしまい、各幼稚園は極限状態になってしまいました。そんな時、本連合会として即座に情報の収集や伝達、そして県担当課等への復旧要請や援助活動等について行動できるよう、日頃から道すじを決めておくことは如に重要なことであるか、改めて考えさせられたこの一年でありました。

(茨城県つくば市・栄幼稚園)

受け身よりも支援する立場へ

栃木県幼稚園連合会理事長 石嶋 昇

東日本大震災は栃木県でも震度6強を観測し、死者4名を含め大きな被害が出ました。

幼稚園は86園から被災報告がありましたが、その内5園の被害状況は、構造物の損傷は免れたものの、揺れに対する接合部分の弱点から天井や壁が崩落し、時間帯によっては園児の被害が予想できる惨状でした。卒園式を前に保育への影響が心配されましたが、休園は一園に止まり、日程調整はありましたが、無事送り出すことができました。新学期も一園が仮の園舎でしたが、全園が新学期をスタートすることができました。

県内の被災園の多くは保育に支援をきたさないように、最低限の補修工事で済ませているのが現状です。

その思いは、東北三県の状況を踏まえ、栃木は自力再建を目指すと共に、受け身よりも支援する立場の意思表示と思われ、合わせて、東北三県に対する支援のため沢山の義捐金

が集まった理由と理解しています。

今後震災を風化させることなく、支援を続けていきたいと思ひます。なお、被害を受けた幼稚園の復

被災地の実情を知り息の長い支援を

全千葉県私立幼稚園連合会会長 森島 弘道

3・11の震災以降、千葉県も被災県として多大なご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

本県は、佐原地区、幕張地区、浦安地区などに被害がありました。特に佐原地区では瓦屋根が崩れた家屋が多数見られ、幹線道路が地盤沈下

していました。市内中心部でも液状化の被害が想像を超えるものでした。佐原みどり幼稚園では、門柱が傾き、園舎内は保育室の床が隆起し、地盤沈下のためか園舎と園舎の間が離れて階段を増設しなければ通れなくなっており、ライフラインも止まっ

旧状況ですが、最も大きな被害のあった園も二学期前には復旧工事が完了しました。災害復旧に当り、全日私幼連他三県から多額の見舞金を頂戴しありがとうございます。公正・公平に配分させて頂きました。全国各地からの温かいご支援に心より感謝申し上げます。報告とさせて頂きます。
(栃木県さくら市・きつれ川幼稚園)

ている状況でした。液状化の恐怖を経験された先生方から「地震のときのマニュアルでは園庭に避難するところが定石であったが、液状化の際は必ずしもそうではなく、判断が難しかった」というお話を伺いました。

また、本連合会では11月に岩手県沿岸部及び被災した2園を視察する1泊2日の研修を行いました。1日目は東北新幹線で一関まで行き、そこからバスで陸前高田市に入り、大船渡市、釜石市、大槌町、山田町、宮古市と陸中海岸沿いの被災地を車窓から視察、2日目は被災した

大槌町の2園を訪問しました。1園目の「みどり幼稚園」は津波で2階天井付近まで浸水し、外壁だけが残り内部はほぼ全壊状態でした。現在は間借りして、3月からは仮園舎に移転する予定でしたが町の策定計画が遅れており、園の改築等のめどがたたないとのことでした。2園目の「おさなご幼稚園」も園舎の1階天井付近まで浸水し園バスや備品等が流されましたが、ボランティアの支援で現在は通常通りの園運営をされています。この研修期間中お世話になった三陸鉄道のガイドさんは、

「忘れられてしまふのが怖いので、ぜひ観光でかまわないので訪れて欲しい、被災地だからといって、私達の心情を思いやる気持ちも良くわかりますが、来てもらえることで支援にもなります」とお話されていました。

実際に被災現地の様子を見聞し、改めて地震に伴う津波の被害とその後被災地の実情を知り、息の長い支援の必要を痛感しております。被災地の痛みも原発事故もまだ終わっていません。1日も早い復興を心より祈念しております。

(千葉県千葉市・千葉聖心幼稚園)

復旧・復興支援に携わって

文部科学省高等教育局私学部私学行政課長

勝野 頼彦



償交渉が本格化していくものと思いますが、引き続き適切な情報提供と支援に努めてまいります。

東日本大震災から約一年が過ぎました。被災地における甚大な被害は一年経ってもなお大きな爪跡を残しています。亡くなられた園児や保護者、教職員の皆様の御冥福を心からお祈り申し上げるとともに、被災された皆様には謹んでお見舞いを申し上げます。

今回の震災において、幼稚園は沿岸部の園を中心に、特に深刻な被害を受けました。地震発生直後から、都道府県や私学団体の協力を得て被

害状況の把握に努めました。徐々に明らかになる被害の実態は私たちの想像を超えるものであり、改めて今回の震災の深刻さを痛感しました。この一年間、私たちは行政の立場から、被災地の私立学校の再生のために微力ながら尽力してまいりました。都道府県や私学団体等を通じて、幼稚園関係者の具体的な御要望を把握し、予算措置や制度改正、通知の発出等により、その実現に努めてきました。また、幼稚園関係者からの

御質問や御要望をQ&A形式でまとめてお示しするなど、正確でわかりやすい情報の周知に努めました。さらに、私学事業団を中心に、被災した教職員や学校法人に対する私学共済からの支援を行ってまいりました。地震、津波の被害に加え、原発事故の被害も幼稚園に大きな影響を与えています。原発事故に係る損害の賠償指針については、昨年九月、福島県において幼稚園等の関係者に直接御説明しました。今後、各園の賠

幼稚園が震災前の姿を取り戻すためには、教育環境の整備や安定的な経営の確保、除染対策など、今後とも取り組むべき課題は少なくありません。幼稚園は生涯にわたる人格形成の基礎を培う教育の場であり、地域コミュニティにとっても大切な存在です。こうした重要な役割を担う幼稚園に、一日も早く子どもたちの明るい笑顔が戻ってくるよう、今後とも幼稚園や私学団体の皆様と十分なコミュニケーションをとり、行政としての責任を果たしていきたいと思っています。

私立幼稚園の復旧・復興を支援

文部科学省高等教育局私学部私学助成課長

森田 正信



予算、24年度予算案等により復旧・復興に取り組んでまいりました。

東日本大震災では、私立幼稚園の被害は15都道府県の約500園に上り、また、津波や原子力発電所事故に伴う被害も甚大なものとなりました。

た。被害に遭われた方々に改めてお見舞いを申し上げますとともに、この間の全日私幼連の精力的な被災地支援のお取り組みに敬意を表します。

私学助成課では、このたびの未曾有の被害状況に対処し、特に幼稚園の復旧に迅速に取り組む必要性が高いとの認識に立ち、平成23年度補正

まず、①施設等の災害復旧の迅速化のため、事業計画書の作成段階から、当課職員が直接、被災地に出向き、各園のご相談に対応したほか、提出書類や手続の簡素化も図りました。私学部全体、幼児教育課等の協力も得て手続を進め、大半の園につ

いては、今年度中に交付決定できる運びです。

これに加え、②被災した園に対する経常費補助の増額（平成23年度）、③被災した幼児の保育料等減免を行う園に対する支援（4年間）、④幼児数が減少し経営に不安を抱える園に対する減収分を考慮した支援（4

年間。福島、宮城、岩手県対象）を行っております。

⑤原子力発電所事故に伴い、毎時一マイクロ・シーベルト以上の放射線量の園を対象に、園庭等の土壌改良への財政支援を行いました。警戒区域内で休園中の園の今後の再開については、福島県とも連携し支援に

努めてまいります。

⑥津波により移転せざるを得ない沿岸部の園の復旧のため、政府の復興庁が所管する東日本大震災復興交付金を活用し、市町村が確保・整備した土地又は施設の貸与を受けられる枠組みを設けましたので、宮城、岩手、福島県と連携し支援に努めて

まいります。

更に、⑦全国的な耐震化等防災機能強化のための集中支援プランを推進することとし、予算を拡充しました。今後とも、被災地の幼児教育の復興、全国的な防災対策に取り組んでまいりますので、ご理解ご協力の程お願いいたします。

被災地の子どもの健やかな育ちのために

文部科学省初等中等教育局幼児教育課長

蝦名 喜之



未曾有の大災害となった東日本大震災の発災から1年を迎えました。

大震災によって、お亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、御遺族と被害に遭われた不自由な暮らしを余儀なくされている方々に心からのお見舞いを申し上げます。

また、各園におかれては、被災した幼稚園児の受入れなど、様々な形で被災地支援に御尽力いただいておりますことに、重ねて感謝申し上げます。

私事ですが、7月に幼児教育課長に就任するまで、発災直後から内閣府に設けられた「被災者生活支援特別対策本部」で勤務し、避難所の生活環境の改善等に従事しておりました。その際には、避難所を訪問し、避難されている方々から様々なお話を伺う機会がありました。

「私たちの生活は何とでもするが、子どもたちが元気に遊べないことが不憫でならない」「子どもたちがいるから頑張れる」という多くの方々の声に胸を熱くしたことを忘れることがで

きません。

子どもの健やかな育ちは、いつの時代にも、どの場所でも、将来への希望の灯です。子どもたちの元気な声が、各地域での復興に向けた取り組みを後押しし、ふたたび震災前のように、さらにはそれを超えて、地域が再生していく力になると確信しています。

文部科学省では、発災以来、14県市324園の幼稚園へのスクールカウンセラーの派遣、被災した幼児47都道府県合計で約5400人の就園

支援、物的被害を受けた15都道府県943園の幼稚園の災害復旧や園庭等の除染、被災県の私立幼稚園の安定的・継続的な教育環境を保障するための支援、被災した幼稚園4県19園が地域のニーズを受け認定こども園として再開するための支援、津波等で甚大な被害を受けた幼稚園が市町村全体の復興計画とともに再建を目指す復興事業への支援などに取り組んでまいりました。

発災から1年が経過し、各地域においては、復旧から復興へと取り組みが進みつつありますが、引き続き、子どもたちが元気に楽しく遊び学び育つことができるよう、各幼稚園への支援にしっかりと取り組んでまいります。

岩手県

命を預かる
という現実

東日本大震災から早いもので1年が経とうとしています。本園は平成23年3月11日に発生した地震による津波で園舎が2階部まで浸水しました。あの日、午後2時46分ころ突然の揺れを感じ、これまでとは違う規模と感覚から即座に園内マニユアルに沿って緊急避難することを決断し行動に移しました。

本園は、午後2時30分が降園時間となっており、2台のバスがそれぞれ

被害の大きかった
幼稚園からの報告

れ2便運航する送迎システムをとっておりま。地震の発生と町の防災無線放送を受け園バスはマニユアルに沿って送迎を中止し園へ帰園し、2便目乗車の園舎内待機園児をバスに乗せ指定避難場所としている近くの高台にある県立大槌高校へ避難しました。自然発生的な地域住民の避難者も含めて高校

側の配慮で体育館に誘導され、わずかな毛布とミネラルウォーターのボトルが配布されました。夕刻から夜にかけて雪が降る天候で寒冷的な空気と停電による明かりがない体育館内で、着の身着のままの教職員と園児38名が共にその夜を明かしました。配布を受けた最低限の毛布にすべての園児はなんとか身を覆い就寝することができました。教員は、毛布の下で園児の隙間に足を入れるだけで、夜通し園児の様子に注意を払いました。

翌日は、朝食に乾パンや飲料水の



ボトルが配給される中、園児分の確保や園バスに移動させ太陽光での暖をとらせるなどしました。走り幅跳びの砂場を見つけ、急場で砂遊びをさせたりもしました。日が改まったこともあり、園児の保護者は雪が降る中、山中を夜通し徒歩で大槌高校まで来られ、地震の翌日にはほとんどの園児を保護者に

引渡すことができました。本園の地震、津波対応マニユアルで避難場所やバス送迎途中の対応行動についても、危機管理対応の一環として職員間で共通理解をもち、且つ保護者にも文書で周知しておりました。

最終的に3日目で残りの園児すべてを保護者に引き渡すことができました。そして、地震発生後から4日目に、初めて自身の家族の安否も確認できていない教職員の帰宅が叶いました。その日の早退児について、後に遺体安置所で遺体を確認する役目も追いました。その後、緊急避難

的に避難先の高校の同窓会館(別館)を仮園舎として一学期及び二学期を過ごし、現在は町の海岸線から遠く離れた山間部にプレハブ仮設園舎を建設し保育を再開しております。

今後、町の復興計画の提示を待つて、園舎の処遇について判断しなければなりません。改築から5年目とあって、再建には二重ローンを抱える現実があります。

東日本大震災から1年が経とうとしています。私どもには3月11日に起きたすべてのことは、今もなお脳裏に焼き付いていて、そのことは今後において、幼稚園とは幼児の命をも保護者から預かるという現実を改めて認識し直さなければならいと強く思う次第です。(岩手県上閉伊郡大槌町、みどり幼稚園園長／佐々木栄光・写真提供)

宮城県

一歩ずつ前へ

園舎から見える海は、今日も穏やかです。今までは、海をこんなに間

特集 東日本大震災から 1 年を経て

近に眺めることも、海がこんなに近
いと感じたことはありませんでした。

3月11日午後2時46分。最終バス
を待つ子ども、家の迎えを待つ子ど
も、預かりの子どもたち40人ほどが
園に残っていました。

地震発生と同時に、子どもたちも
職員も、反射的にいつもの訓練通り
に行動し、素早く園庭に避難しまし
た。しかし、異常に強く、何度も襲つ
てくる揺れに、津波のことが頭に浮
かび、近くの高台の老人ホームに避
難しました。バスは途中から戻って
きましたが、すでに家に帰した子ど
ももいました。余震はその後も頻繁
に続いていましたが、迎えに来た保
護者には随時引き渡していました。

3時30分。瓦礫と共に真っ黒な津
波が押し寄せ、園舎を容赦なく襲
い、その後ろにある住宅まで流れ込
んできました。迎えの保護者に次々
と帰したこと、その後の子どもやそ
の家族の安否を確認するまでの不安
な日々が長かったこと等々、日が経
つほど反省させられることばかりが
心に浮かんできます。

4月から12月までは姉妹園に間借
りをして過ごしました。窮屈で不自

由なことや不便なこと、我慢するこ
とも多かったけれど、互いに寄り添
い、子どもたちが笑顔で元気に過ご
している姿にずいぶん励まされた
日々でした。そのような生活も、多
くの方々からの温かく力強いご支援
のおかげで、思った以上に早く、ま
た元の場所から新たな一歩を踏み出
すことができました。

この一歩一歩
が、子どもたちの
明るい未来に続い
ていく道になるこ
とを心から願って
います。

(宮城県気仙沼市・
葦の芽星谷幼稚園
園長／石川イネ子)

福島県

許認可、放射線 課題は山積

海岸から10m程、打ち寄せる波の
音と潮の香りに包まれた久之浜第一



幼稚園。

3月11日(金)午後2時46分、か
つて経験したことのない大地震が幼
稚園を襲いました。この時、幼稚園
は降園時間で80名の園児が残ってお
りました。あまりの揺れの大きさと
長さに危険を感じ、揺れが収まるの
を待たず、園庭に出るよう呼びかけ
ました。園庭中央に

避難した園児に保育
者が覆いかぶさるよ
うにして地震が収ま
るのを待ちました。

私たち海の近くに
生活する者は、地震
の次は津波の避難訓
練を関連付けて行
なっており、直ちに
津波の対応に入りま
した。ただ、この時

襲ったのは、避難後わずか20分後の
ことでした。

その後、車の中で子どもたちに不
安を感じさせないよう、職員は手遊
びや歌、素話をしながら保護者の迎
えを待ちました。すべての園児を保
護者のもとに無事帰すことができた
のは夜10時頃になってしまいました。

4月10日より15km程離れた平第一
幼稚園を間借りし保育を開始しまし
たが、この一年、原発事故による放
射線対応に追われる日々。

この間、表土除去・除染・心のケ
ア等子どもたちの生活の安心安全を絶え
ず考えてきました。

幼稚園の再建については、認定こ
ども園も視野に入れ考えております
が市の許認可問題もあり、更に放射
線の不安も抱え、未だ見通しのたた
ない状況です。しかし、町の復興の
ためにも、前向きに進んでまいる所
存です。

全国の幼稚園の皆様方から物心両
面にわたりご支援を賜り誠にありが
とうございました。

(福島県いわき市、久之浜第一幼稚
園園長／青木孝子・写真提供)

茨城県

命があれば
何とかなる

東日本大震災では私立幼稚園連合会関係者より多大なご支援と励ましのお言葉を頂きましたこと感謝申し上げます。

人智をはるかに超えた大災害、「すべてのことばが枯葉一枚の意味も持たない」という表現以外見つからなかった3月11日。降園後、まだ残っていた30数名の園児と保護者の目の前でレンガが次々と崩落し、ガラス窓は外れ飛び、保育室の外壁は建物ごと外れ、一瞬にして園内は土煙と瓦礫の山と化しました。樹齢百年の榎の木も倒れんばかりの揺れでした



が、園児はじめ誰にも怪我がなかったことが何よりの幸いでした。

一週間後、近隣のビル2階60坪の空き部屋があり早速仮園舎といたしました。余震が続く厳しい寒さの中での引越し準備、とりあえず必要なもののみでは貸倉庫に預け、4月11日より新年度を始めました。重いドア・大人用トイレ4箇所、手洗い・うがい用蛇口2箇所、園庭もなく、階段を降りますと大きな交差点で一時も気の抜けない保育の場となりました。時間ごとの保育室の繰り合わせ、子どもたちはうがいも譲り合いながらの日々です。このような状況中で、多くの卒園生や保護者に支えられての新園舎は3月着工、8月完成の予定の運びとなりました。震災後のため、建設費の高騰は免れないようです。多くの方々が生きる価値観が定まらない今、幼稚園を取り巻く環境も曲がり角にさしかかっています。小さな園ならではの密な信頼関係を生かしつつ、子どもたちの健やかな成長を願い幼児教育を続けていきたいと考えております。「今、困ったことはない。命あれば何とかなる」という笑顔の職員に、まだま

だ困難に立ち向かえる力があることに感銘を受けました。私たちは子どもたち、保護者と共に未だ使ったことのない力を引き出された1年でした。(茨城県水戸市・少友幼稚園園長／宮崎禮子・写真提供)

栃木県

震災から得た
多くの教訓

本年の地震被災に対し、全日私幼連会長や県幼連会長の視察激励や義捐金等のご支援をいただき、心からお礼申し上げます。幸い園児・保護者・職員等に怪我なく、神に感謝。下記にて被災から復興までの概略を述べたいと思います。

当日は、被災の大きさに唯々茫然自失。園舎使用不能。当面の休園を保護者へ通知。翌日再建方針等協議決定。当初の仮設園舎建設は、土地確保が農振法や公園規定(条例)などで断念。借用施設確保には、地域の小学校をはじめ近隣施設全般が被害を受けて不可。やむを得ず他園への分散委託や転園を斡旋して廃園な

どの選択も考える。しかし、園児の絆をバラバラにはできない。施設借用範囲を旧市内まで拡大。結果、専門学校の空き校舎あり。バス増車にて輸送可能と判断。4月1日校舎賃貸契約。早速電気、給排水等保育環境を整備。水質・消防等諸検査許可を得て、4月8日保護者へ経過と今後の方針説明会実施。4月11日仮園舎での保育開始となる。この間清原東小学校体育館での卒園式(3月19日)入園式(4月5日)を挙行。

一方復旧計画は、建築設計士及び建物構造調査士による検査の結果耐震補強にて改修との判定。激震災における国の補助適用地域となり、補助要件は原形復帰が原則と判明。改修工事設計を一部変更。指名業者5社のうち、最低価格業者を選定。8月31日までに工事完了。9月3、4日保護者の会、おやじの会の協力により本園へ再移動。9月5日から本園舎での保育が始まった。この間、連合会青年部による現地激励。各園からの遊具提供などに深く感動。

災害を通して避難場所の設定や訓練の時期など危機管理マニュアルの見直しが必要と痛感。また、復旧事

特集 東日本大震災から1年を経て

千葉県

液状化現象の恐怖

業は、対外交渉が多岐にわたり複雑に絡み合うので即断即決の判断力が必要。そのため管理責任者は法律や条例、規約契約などに一定の知識を持つことが肝要なことなど大変貴重な教訓となりました。(栃木県宇都宮市・太陽幼稚園園長／寺尾球司)

東京湾岸から約1・5キロの埋立地に立つ千葉市美浜区の幼稚園。金曜日14時46分、いつもと変わらず園庭で遊んでいる親子十数人、教室、ホールで課外のレッスンを受けている園児約40人、預かり保育26人、3便のバスを待っている園児が2つの教室に27人、合計100名あまりの園児と十数名の保護者が園内にいました。園長室にいた私は、大きな揺れを感じて数秒後これは大地震だと判断し、すぐにベランダへ出て園庭に避難しなさいと叫びました。放送設備を使う余裕がありませんでした。各教室にいた先生方は訓練どお

り迅速に園児を園庭に避難誘導しました。全員しゃがんで揺れがおさまるのを待っていました。その間し字型の園舎がぶつかり合う不気味な音とともにコンクリートが砕け散る音がしました。

2回目の大きな揺れを感じて間もなく園舎のベランダが盛り上がる

と、割れてそこから泥水が噴出してきました。さらに園庭に地割れが起きはじめそこから泥水が出てきました。園庭のいたる所に地割れがおき、揺れとともに園児の足が入るほどの口を開けたり閉じたりを繰り返



し、閉じるたびに泥水が吹き出しました。園庭は危険だと判断し、道路をはさんで斜め前にある公園に避難しました。幸い保護者もたくさんおりましたので園児に不安を与えることなくスムーズな誘導ができました。ところが、公園も地割れが起きはじめたのです。先生方に地面をよく

見ているように指示を出し、足元の地面が割れ始めたらずきに全員でヒジのない場所に移動しました。その間保護者への連絡を取り続けるとともに、ワンセグから情報を手入していました。第二避難場所として指定してある公園なので保護者が次々と迎えにきました。しばらくすると数

キロ離れた石油コンビナートの爆発音とともに火柱が上がり、きのこ雲が見えました。これは現実なのかと疑いました。

あれから1年、公的機関、幼稚園団体等の協力のもと、統廃合で使わなくなった小学校の一部をお借りして保育をさせていただいている間、液状化で沈下した園舎と園庭の復旧工事を終え、今は園庭に子どもたちの元気な声が戻っています。多方面からのご支援、ご協力に感謝いたします。

(千葉県千葉市・真砂第一幼稚園園長／川上浩・写真提供)

財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構・監修

研修ハンドブック

内容

- 「保育者としての資質向上研修俯瞰図」(全日本私立幼稚園幼児教育研究機構:作成)のカテゴリー別研修記録
- 研修履歴一覧表 など

資料

- 改訂 幼稚園教育要領
- 改訂 保育所保育指針
- 保育者としての資質向上研修俯瞰図 など

どのような研修に参加したかを記録し、
教員としての
資質向上を
サポートします。

B6判 112ページ
定価700円(税込)

お申し込みは株式会社世界文化社および世界文化社(ワンダー)販売会社まで

世界文化社

〒102-8187 東京都千代田区九段北4-2-29 TEL:03(3262)5128(営業部)

● 2・22常任理事会

平成24年度事業計画案

収支予算案など審議

2月22日、東京・私学会館において常任理事会が開催され、22人が出席しました。議長に村山十五副会長、議事録署名人に坂本洋調査広報委員長、坪井久也認定こども園対策委員長が選任され議事に入りました。

■報告案件1…東日本大震災義捐金について／中浦正音総務委員長から義捐金の配分状況等について報告がありました。

■報告案件2…全日私幼連会務運営報告の件／各委員会委員長、プロジェクト座長から資料をもとに説明・報告がありました。

■審議案件1…平成23年度補正予算案の件／中浦総務委員長から資料をもとに説明が行なわれ、原案を議決しました。

■審議案件2…平成24年度事業計画案の件／各委員会委員長、プロジェ

クト座長から平成24年度の事業計画案について説明が行なわれ、原案を議決しました。

■審議案件3…平成24年度収支予算案の件／中浦総務委員長から資料をもとに説明が行なわれ、原案を議決しました。

■協議案件1…子ども・子育て新システムの件／北條泰雅副会長から資料をもとに報告があり、その後協議が行なわれました。その中で、「総合こども園（仮称）」への株式会社社の参入について協議が行なわれた結果、動議により審議案件に切り替え審議が行なわれることが承認されました。

■審議案件4…「総合こども園（仮称）」への株式会社社の参入について／全日私幼連として反対を表明する意見書を理事会に上程することにつ

いて審議が行なわれ、原案を議決しました。

■協議案件2…全日私幼連会長及び副会長の選任について／中浦総務委員長から資料をもとに説明がありその後、協議が行なわれました。

■（財）全日私幼研究機構からの報告…田中雅道（財）全日私幼研究機構理事長から資料をもとに報告が行なわれました。（総務委員長・中浦正音）

全日私幼連

一〇二条園研修会

2月16日、東京・私学会館において、全日私幼連の平成23年度・102条園研修会が開催され、全国から80人の先生方が参加しました。開会式では尾上正史副会長があいさつを述べられました。主な内容は次のとおりです。▼講演／演題「幼保一体化について」講師…蝦名喜之文部科学省初等中等教育局幼児教育課長▼意見交換…6つのグループに分かれ、政府の進める幼保一体化についてディスカッション。

園経営で予想されるあらゆるリスクに対応し、お答えします

こんなときどうする？

子どもたちが安全で幸せな園生活をおくるための危機管理ブック

園の安全を
考える！

こんなとき
どうする？



園生活編

こんなとき
どうする？



労務編

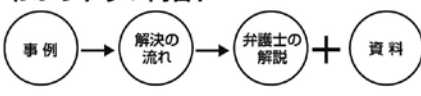


資料CD-ROM付
(for Windows)

弁護士解説付き



わかりやすい内容！



セット定価：13,650円（本体13,000円）ケース入り 16-11223
セット内容：《園生活編》B5判 328ページ／《労務編》B5判 92ページ
《資料CD-ROM》for Windows

◎お申し込みは貴園にお伺いしています小社特約代理店
もしくは学研幼児教育事業部 03-3726-8711まで

学研

平成24年2月15日

「総合こども園（仮称）」への株式会社の参入について

～我が国の学校教育の公共性を守るために～

全私学連合

■ 意見の趣旨

学校教育としての公共性・継続性・安定性が強く求められる学校教育体系全体の整合性の観点から、学校教育を行う制度と位置づけられる「総合こども園（仮称）」への株式会社の参入については、強く反対することを表明する。

現在、政府が検討している「子ども・子育て新システム」においては、質の高い学校教育・保育の一体的提供や保育の量的拡大の観点から幼保一体化を推進することとされ、その際には、既存の学校教育・保育に係る財政措置の「こども園給付（仮称）」への一本化や、学校と児童福祉施設の双方の位置づけを有する「総合こども園（仮称）」の創設を図ることとされている。

「総合こども園（仮称）」は、国、地方公共団体、学校法人等に加え、主として多様な設置主体の参入による保育の量的拡大の観点から「一定の要件を満たした株式会社」等が設置することが可能であるとされ、財産や役員に関する要件に加え、配当等による資金流出を一定程度制限するという案が示されている。

このたびの「総合こども園（仮称）」について、一定の要件にかからしめるとしても、公の性質を有する学校として位置づけることは、重大なる禍根を残すのではないかと危惧するものである。すなわち、「総合こども園（仮称）」に配当の追求を目的とする株式会社の参入を認めることは、我が国の教育政策の歴史上特異なこととなる。このことにより、国家及び社会の形成者を育成するという公教育の使命が経済効率偏重の観点から歪められる端緒となる可能性を否定し得ないものであり、その可能性が顕在化した場合、公教育に与える影響は計り知れない。

政府の今回の判断は、その内容が後世の評価に耐え得ると十分吟味した上で行われたものであるのか、疑問を禁じ得ない。

待機児童の解消という社会的な要請に適切に対応するため、様々な社会的資源を活用することを否定するものではないが、その陰で、我が国の私学関係者が、営利を目的とせず、公共性・継続性・安定性のある学校の設置のみを目的とした学校法人制度のもとで、これまで長年にわたり行ってきた学校教育の公共性を高める努力に悪影響が及ぶことがあっては断じてならない。

このため、全私学連合としては、学校教育としての公共性・継続性・安定性が強く求められる学校教育体系全体の整合性の観点から、学校教育を行う制度と位置づけられる「総合こども園（仮称）」への株式会社の参入については、強く反対することを表明する。

2月13日、「子ども・子育て新システムに関する基本制度とりまとめ」が内閣府より発表されました。

子ども・子育て新システム 基本制度とりまとめ公表される

度ワーキングの最終回（1月31日）で「すべての構成員に対して、最終的なとりまとめに向けた修正について調整を行なう」ことが確認されたにもかかわらず、十分な調整がなされなかったことにより、本連合会として、同じく「子ども・子育て新システム」のワーキングを園田康博（内閣府大臣政務官）へ即日、申し入れました。

す。覧いただけま

ニュースのひろば

新刊

50の 脳と心を育てる あそび

脳科学者が提唱する、0歳からの子どもの脳がめきめき育つあそび集。

人の脳の働きである7分野の知性（言語、論理数学、絵画、音楽、運動、空間、社会）ごとに、年齢別にイラストで紹介しします。

50の
脳と心を育てる あそび
森田勝之 著



子どもの脳が
めきめき育つ!

森田勝之 著
（十文字学園女子大学教授）
定価1,890円（税込）
24×19cm／120ページ
発行・発売 チャイルド本社

民主党私学振興議連で総合こども園への株式会社参入に反対を表明

2月15日、衆議院第二議員会館内の会議室で、民主党の私学振興推進議員連盟（会長・高木義明衆議院議員）の総会が開催されました。

会議では、幼保一体化について全私学連合（代表・清家篤慶應義塾塾長）からのヒアリングが行なわれました。

全私学連合からは、清家篤代表、吉田晋中高連会長、香川敬全日私幼連会長、北條泰雅副会長が出席し、「学校教育としての公共性・継続性・安定性が強く求められる学校教育体系全体の整合性の観点から、学校教育を行なう制度と位置づけられる『総合こども園（仮称）』への株式会社参入については、強く反対する」ことを表明しました。

出席した国会議員からは「株式会社が参入後に一定期間を経て、学校法人に移行する制度にするべきである」「待機児童解消のためにやむを得ないのではないか」「党内で再度議論をすべきではないか」などの意見が活発に交わされました。

全私学連合の意見書は15ページに掲載しております。

●私学振興議連、全私学連合が平野文科相へ意見表明

私学振興推進議員連盟の総会終了後、私学振興議連の先生方と全私学連合の先生方は、共に平野博文文部科学大臣を訪問。

全私学連合、議員連盟ともに、総合こども園（仮称）への株式会社の参入については、強く反対することを平野大臣へ申し述べました。

★政府 子ども・子育て新システム検討会議

『子ども・子育て新システムの基本制度』 政府・少子化社会対策会議で決定される

3月2日に開かれた政府の少子化社会対策会議で、「子ども・子育て新システムの基本制度」が決定されました。今後、消費税関連法案と併せて3月中旬の閣議決定を見据えて、与党の政調会における法案審査の議論等を通じて、さらに検討が進められる見通しです。

本連合会としては、今回示された「子ども・子育て新システムの基本

中央教育審議会教育振興基本計画部会で意見発表

2月24日、東京・フロラシオン青山で中央教育審議会の教育振興基本計画部会が開催され、第2期の教育振興基本計画にかかるヒアリングが行なわれました。全日私幼連からは北條泰雅副会長が出席し、次期教育振興基本計画の策定に向けて、幼児教育全体の質の向上を図るよう意見を述べました。意見書は18～19ページに掲載。



新刊！ 幼児期から児童期への教育

国立教育政策研究所
教育課程研究センター／編
A5判 定価 本体600円（税別）

幼稚園及び保育所と小学校との連携を深めるために、国立教育政策研究所が研究を進め、具体的な実践事例を中心にわかりやすくまとめた指導資料集。



幼稚園における 道徳性の芽生えを培うための事例集

文部科学省／編
A5判 定価 本体130円（税別）

乳幼児期における道徳性の発達について、配慮することの基本的な考え方や指導計画作成の手がかり、幼児の姿と教師の関わりなどについて述べた書。

☆ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2 TEL.06-6768-1151代表
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

議作業グループの下、基本制度ワーキングチームにおいて平成22年9月より「子ども・子育て新システム」の具体的な制度設計について検討を進め、去る平成24年2月13日に「子ども・子育て新システムに関する基本制度取りまとめ」が公表されたことを受け、「子ども・子育て新システムに関する基本制度」を別添1のとおり定める。

また、別添1に基づき「子ども・子育て新システム法案骨子」として別添2を定め、これに基づき子ども・子育て支援法案（仮称）、総合子ども園法案（仮称）並びに子ども・子

子どもと家族のために頑張るママに

「母の日ありがとうカード」プレゼント

20代、30代の女性たちに増えている子宮頸がん。女性ならだれでもかかる可能性がある病気です。幼稚園児のお母さんはまさに要注意の年代といえますが、家事・育児に忙しく、自分の健康を後回しにしがちです。

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議では、検診とワクチンで子宮頸がんが予防できることを知っていただ

育て支援法及び総合こども園法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律案（仮称）の三法案の作成作業

株式会社東日本大震災事業者再生支援機構 による被災事業者の再生支援

東日本大震災で被災された事業者の二重債務問題に関し事業者の債務の負担を軽減しつつ、その再生を図るため、「東日本大震災事業者再生支援機構」が設立されました。

平成24年3月5日より業務を開始しました。概要については、20ペー

き

を急ぎ、税制抜本改革とともに国会への法案提出を行うものとする。

文部科学省だより

ジに掲載しております。

（幼児教育課）

※株式会社東日本大震災事業者再生支援機構法の詳細については、全日私幼連のホームページ「東日本大震災の対応について」に掲載しております。

伝えることができます。

くため、5月13日の母の日に向けて「子宮頸がん予防母の日キャンペーン」を実施。内容は、子宮頸がん予防のメッセージ付きの「母の日ありがとうカード」に子どもたちにぬりえをしてもらい、お母さんに手渡し

てもらおうというもの。まだ字の書けない子どもたちでもお母さんに「検診を受けてね」というメッセージを

このカードを、ご希望の幼稚園に無料で配布いたします。園名、住所、電話番号、希望枚数をご記入の上、Eメール（cczero@ellessnet.jp）かFAX（03-5565-1914）で4月25日（水）までにお申込みください。先着1000園様に、5月2日（水）までにカードをお送りいたします。

詳しくは <http://www.cczero.jp/> 子宮頸がん征圧をめざす専門家会議（03-3354612521）



子どもが直接触れるものだから、
より優しくソフトになりました。

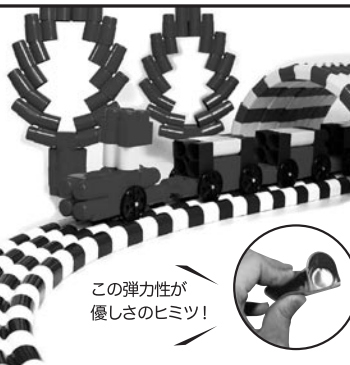
新登場 安全への配慮も万全です。

Bブロックソフト

HDF0215 セット ￥40,950 税込

HDF0216 バラ ￥21,000 税込

※詳しくは弊社営業までお問い合わせ下さい。



この弾力性が
優しさのヒミツ！

Bブロックソフトの特長

割れにくくなり耐久性・
安全性がさらにアップ

落としても大きな
音がありません。

軟らかくなったことによ
り、曲線造形もつくれる
ようになりました。

ジャクエツ

2、第1期教育振興基本計画で示された、小学校就学前の教育の保護者負担の軽減について、さらなる充実・発展を図るための具体的な施策の明記をお願いいたします。幼児教育にかかる保護者負担は OECD 平均よりはるかに重い状況のままであり、早急な改善が必要と考えます。

(関連項目／第1期計画 p 28：基本的方向2・個性を尊重しつつ能力を伸ばし、個人として、社会の一員として生きる基盤を育てる ⑤幼児期における教育を推進する◇幼児教育の無償化の検討を含む保護者負担の軽減)

3、第1期教育振興基本計画で示された、幼稚園等を活用した子育ての支援の推進について、さらなる充実・発展を図るための具体的な施策の明記をお願いいたします。

(関連項目／第1期計画 p 17：基本的方向1・社会全体で教育の向上に取り組む ②家庭の教育力の向上を図る◇幼稚園等を活用した子育ての支援の推進)

4、東日本大震災において私立幼稚園は人的・物的に大きな被害を受けたことを踏まえて、私立幼稚園の耐震化のさらなる推進を図るとともに、私立幼稚園が地域における一時的な避難所としての役割も果たしてきていることを踏まえて、備蓄倉庫の設置など非常災害時における地域の拠り所としての施設整備を図るなど、今般の大震災を踏まえた具体的な施策の明記をお願いいたします。

(関連項目／第1期計画 p 34：基本的方向4・子どもたちの安全・安心を確保するとともに、質の高い教育環境を整備する ①安全・安心な教育環境を実現する)

5、教育基本法第11条（幼児期の教育）において、幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものと位置づけられていることに鑑み、幼児教育重視を国家戦略に位置付け、その充実を図ることが不可欠と考えます。あわせて、早急に政府内に担当部署を定め、国家戦略として幼児教育の充実を推進する体制を構築する施策が必要です。

以 上

平成 24 年 2 月 24 日

中央教育審議会 教育振興基本計画部会
部会長 三 村 明 夫 様

全日本私立幼稚園連合会

第 2 期教育振興基本計画の策定に向けての意見

第 2 期教育振興基本計画の策定にあたり、熱心な議論を重ねていただいておりますこと心より感謝申し上げます。

このたび標記のことにつきまして、本連合会の考えを下記の通り取りまとめました。お取り計らいのほどよろしくお願い申し上げます。

記

○ 第 2 期教育振興基本計画の策定に向けて

第 2 期教育振興基本計画の策定にあたっては、まず第 1 期の基本計画の検証が十分に行なわれることが必要だと考えます。第 1 期の基本計画ではさまざまな施策が策定されましたが、それぞれの施策について成果をあげることができたのかを十分に検証して、その上で第 2 期の計画策定に望むことが大切であると考えます。そのような観点から、以下の具体的な項目について意見を申し述べさせていただきます。

- 1、教育基本法第 11 条（幼児期の教育）の規定を踏まえて、幼児教育のさらなる推進に向け、幼児教育全体の質の向上と充実・発展を図るための具体的な施策の明記をお願いいたします。

（関連項目／第 1 期計画 p 27：基本的方向 2・個性を尊重しつつ能力を伸ばし、個人として、社会の一員として生きる基盤を育てる ⑤幼児期における教育を推進する◇幼児教育全体の質の向上）

株式会社東日本大震災事業者再生支援機構法について

目的（１条）

東日本大震災の発生により、被災地域に甚大なダメージ、被災事業者の債務の負担を軽減しつつその再生を支援

被災地域からの産業及び人口の被災地域以外の地域への流出を防止することにより、被災地域における経済活動の維持

被災地域の復興

株式会社東日本大震災事業者再生支援機構による被災事業者の再生支援

<対象事業者>

東日本大震災によって被害を受けたことにより過大な債務を負っている事業者であって、被災地域において債権者その他の者と協力してその事業の再生を図ろうとするもの（19条１項）

※「被災地域」については、具体的には政令で規定。

※小規模事業者、農林水産事業者、医療福祉事業者等を含む。大企業、第二セクター等は対象外。

※再生支援を申し込む際には、①事業再生計画（事業の再生のおおよその見通しで足りる）、②支援決定後に債権者等が貸付等を行う約束を証する書面を添付。（19条２項）

<機構による支援の内容>

○機構の業務（16条）

- ・対象事業者に対して金融機関等有する債権の買取り等
 - ※「金融機関等」にはリース業者や信用保証協会を含む。（2条２項）
 - ※「買取価格」は、事業再生計画、被災地域の復興の見通し、再生支援後の対象事業者の経営状況の見通し、担保財産の価格の見通し等を勘案した適正な時価。（23条１項）
 - ※機構は、関係金融機関等と損害担保契約を締結することができる。（23条２項）
- ※政府及び機構に、迅速かつ適正な買取価格の算定方法（簡易な方法による算定を含む。）に関する指針の作成等の努力義務。（附則３条）

<支援基準>（18条）

- ・主務大臣が、再生支援の決定等を行うに際して従うべき基準を作成・作成に際しては、
 - ①復興対策担当大臣及び関係道府県知事の意見を聴取
 - ②できる限り多くの事業者に再生の機会を与えることとなるよう配慮
 - ③復興基本方針等との整合性に配慮

産業復興機構等との連携・協力

- ・被災した事業者の事業再生のために、機構と「産業復興相談センター」及び「産業復興機構」は、相互に連携を図りながら協力するよう努める。（59条、64条）

政策金融機関の協力

- ・政策金融機関は、民間金融機関が対象事業者に対して行う資金の貸付け等では、事業の再生に必要な資金を確保できない場合に、当該必要な資金の貸付けを行うよう努める。（62条）

<機構の組織・体制>

- ・全国で一つに限り設立される株式会社（主務大臣認可）（3条、8条）
- ・預保・担保を通じた国等による資本金の組成（4条、8章）
- ・機構の資金の借入に係る政府保証（40条）

財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

第3回 幼児教育実践学会

■期 間：平成24年8月23日(木)・24日(金)

■会 場：東京家政大学(東京都)

形式にはこだわります。気軽に表示していただきます。
ポスター発表は実践の交流をふかめます。
ポスター発表ではゆつくり実践を発表できます。

テーマ
広く、深く、
ていねいに
保育の質を考える

あなたの実践研究や園の保育を
ポスター発表してみませんか！

【発表要領】

- ポスター発表できるのは(園・個人・研究者)です(ポスター発表は24日に行います)
- ポスターは各自で持参し、所定の場所に貼って終了後各自で撤収し、持ち帰ってください
- 発表者は、縦180cm×横90cmのスペースに実践研究の要旨・図・表・写真などを貼ったポスターを準備し会場で質問に答えながら自由に討論を深めます。
- セッション時間中は、必ず出席してください。

【発表申込方法】

- E-Mailでの申し込みとなります。Mailアドレス：info@youchien-kikou.com
- 申し込み及び発表要旨締め切り：2012年5月31日(木)
- 詳しくは、全日本私立幼稚園幼児教育研究機構ホームページをご参照願います

お問い合わせ：財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館4階 TEL.03-3237-1080 FAX.03-3263-7038 (担当:勝倉)



正義の味方 悪の大魔王



間藤 侑
新潟大学名誉教授

「いいか みんなきけよーこまっ
たことがあったらばくにいえよ
ぼくはせいぎのみかたあくのだ
いまおうだぞー」

これは今から22年前（1990
年）、全日私幼連合会編の「ねえ、
おはなしきいてー幼児のつぶやき集
」で出会った「名」セリフです。

小学生の問題集に、もし上のセリ
フが載り、「この文で変だと思うの
はどこですか？」という質問があつ
たら、学校教育の立場では、「正義

の味方が悪の大魔王なんておかし
い」が正解でしょう。では「遊びを
通して学ぶ」と言われる幼児教育の
視点からは、どうでしょうか。こ
の「幼児のつぶやき集」からは、保
育という臨牀的な場に立ち、幼児と
同じ方向を眺めようとする先生たち
の眼差しが強く感じられます。それ
にしても、この「正義の味方、悪の大
魔王だぞ」の滅茶苦茶さは群を抜い
ています。でも一見明らかな矛盾を

はらんだこのセリフが紹介されたの
は、何故なのでしょう？

大人が考えつかない奇想天外な幼
児の発想として、面白がることもで
きます。しかしこの言葉に出会った
時、私は、直感的に「あ、ゴジラ」
と思い、ふっと現れては一瞬の中に
消えていく、幼児の遊びの本質を象
徴するシーンだと感じたのでした。
「えーっ、なぜ？」という声も聞こ
えそうですが。

昭和29年、映画「ゴジラ」が登場
し大きな話題になります。大学生
だった私は、たまたまこのロード
ショウの切符をもらい、生まれて初
めてワイドスクリーンで「ゴジラ」
に対面し、圧倒的な力に心を奪われ
ました。やがて私はその後の「ゴジ
ラ」も含めて、「ゴジラ論」を授業
でやり始めます。想像力を刺激され
た第一作から、やがて子どもを意欲
したB級作品まで含めて、ゴジラは
魅力尽きない心理学資料の宝庫でし

た。

それにしても、これまで築き上げ
てきた人間の近代文明世界を徹底的
に破壊しつくす、言わば怪獣の中の
怪獣、まさに悪の大魔王の象徴的存
在とも言えるこのゴジラが、なぜ多
くの人の心を捉え、忘れ難く感じさ
せるのでしょうか？

今更もつともらしく語る必要もあ
りませんが、ゴジラは、ある小さな
島で伝説のカミとして語り継がれて
きた架空の生き物だったという設定
です。しかしゴジラは実在し太平洋
の海底深くで眠っていたが、アメリ
カの水爆実験で目覚めさせられ、し
かもその強烈な放射能を浴びて変身
した実在の「カミ」として姿を現す
のです。それは、近代兵器を結集し
て自分を屈服させようとする人間の
愚かさを、人間たちに気付かせ目覚
めさせようとする「正義の味方」と
いうよりは、絶対的な正義の象徴で
もありえます。私はあの幼児の叫び

を見た時、「君もゴジラだったのか」
と言いたくなりました。

現実の中ではほとんど無力な幼児
も、想像世界の中で月光仮面やウル
トラマン、ゴレンジャーなどの正義
の味方に変身し、さまざまな悪の大
魔王（怪獣）たちをやっつけます。
相手が強いほど正義の力が増殖する
ことも理解しています。彼らは「正
義の味方と悪の大魔王」は、面の表
と裏であることをきくと直感的に感
じているのでしょう。

最近の幼児教育現場では、いろん
な理由で、学校教育や学校生活への
適応を意識しすぎる風潮が高いとも
聴きます。また幼児教育の立場は、
短絡的に学校と結び付ける要求や論
理に対し少し弱い気もします。しか
し学校教育の土台となる幼児教育の
本質は、あくまで自由な遊びによる
豊かな感性の育成です。そして遊び
を語るのは、ずっと昔から、哲学、
文学、芸術などの言葉でした。その
重さをもつと意識してもいいと私は
思います。「幼児のつぶやき集」に
みるつぶやき、それを語る先生方の
言葉は、今も少しも褪せていません。
パートⅡも見たいですね。（つづく）

富山県からのおたより

いま、何をすべきか

本県では昨年、平成23年度東海北陸地区私立幼稚園教育研究富山大会が7月28日、29日の2日間、「未来へつなごう 子どもの笑顔」をテーマに開催されました。多くの先生方に参加いただき、本当にありがとうございました。さて、この大会は私自身にとっても勉強になるものでした。それは、多くの先生に出会うことができ、多くのことを教えていただいたからです。

開会式の来賓祝辞で富山市長森雅志氏が「本市におきましては、県内初となる公立の認定こども園を平成24年4月に開園するよう準備を進めているところだ」と話されました。私は「なぜ私立の大会で公立の認定こども園開園の話をするのだろうか」と疑問を持ち、後日そのことを詳しく調べてみたところ、ある地区の公立幼稚園と保育所の老朽化にともなう開園であること、幼稚園型で保育にかける部分は無認可可である

富山県メモ
面積:4,247.61km²
県花:チューリップ
県鳥:ライチョウ
県木:タテヤマシギ
県獣:ニホンカモシカ
県のさかな:アザリ、シロビ、オコシカ

こと、定員が二つの旧の幼稚園と保育所を合わせた数の倍以上になることなどわかりました。さらに富山市私立幼稚園協会には具体的な説明がなかったということでした。疑問が憤りに変わり、その気持ちを親しい幼稚園の先生に打ち明けると思わぬ返事が返ってきました。「市を責め

では自然なことだし、そこを愚痴っているよりも、私立幼稚園として市町村行政に対してもっとアンテナを高くし、連携・協力体制をとることの方が重要だね。一体化になれば補助金の窓口は市町村行政になるのだから。そして何よりも大切なことは、子どもの未来のため、今何をすべきか、これを一番考えていこうじゃないか」と。自分自身を恥じ、向かうべき方向性を教えられた出来事でした。

(富山市私立幼稚園協会副会長、富山市・リンデ幼稚園／藤島秀恵)

私立幼稚園に期待され、また担うべき役割はますます広がっています。兵庫県においても、地域の未就園児の親子に対するさまざまな子育て支援事業が兵庫県からの助成を受けて実施されています。

事業としては、「乳幼児子育て応援事業」という名称で、在宅で子育てをする親の孤立化を防ぎ、子育ての悩みや経験を共有する場としての、0歳～1歳児の乳幼児親子を対象とした「子育てサロン」に対しての助成がなされています。

また「私立幼稚園2歳児子育て応援事業」として幼稚園での幼児教育体験と保護者に対する学びの機会を提供する園に対しての支援、さらには核家族化や少子化が進み、年少の子どものかわりが減少している中で、高校生に対する保育体験学習を幼稚園が積極的に受け入れることができるように事業補助もなされて

います。まさしく0歳児からの親と子どもにとっての「育ちの場」としての幼稚園の使命はますます大きくなっていく中で、県とも協力してその役割を果たしていきたいと願っています。

就学前の子どもに対する幼児教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援を総合的に提供する機能を備えた施設としての「認定こども園」は、兵庫県下で60施設が認定を受けています。今後、幼保一体化に向けての準備が本格的になされていきますが、さまざまな制度への対応に留まることなく、子どもの健やかな成長が第一に考えられた保育と子育て支援がなされるように、兵庫県私立幼稚園協会としての研究・研修が求められています。

(兵庫県私立幼稚園協会理事、神戸市・神戸YMCAちとせ幼稚園／吉田昌義)

兵庫県メモ
面積:8,396.13km²
県花:ノジギク
県樹:クスノキ
県鳥:コウノトリ

期待される子育て支援

兵庫県からのおたより

ライターの火遊びによる火災を防ぐには、 周囲の大人の注意が欠かせません!!

子どもの手の届かないところにおきましょう

家の中、車の中にライターを放置せず、子どもの手の届かない場所にきちんと保管しましょう。

子どもに触らせず、火遊びの危険性を教えましょう

子どもにライターに触らせないようにしましょう。

子どもがライターで火遊びをしているのを見かけたら、すぐに注意してやめさせましょう。

理解できる年齢になったら、家庭や学校で子どもに火遊びの危険性を教えることも大切です。

不要なライターはきちんと捨てましょう



利用しなくなった古いライターが、ありませんか？

ライターは使い切ったガス抜きをして、各自治体のルールに従って正しく廃棄しましょう。

ガス抜きの方法と注意事項の情報は(社)日本喫煙協会HPをご覧ください。
<http://www.jsaca.or.jp/info/throw.html>

子どもが簡単に使えないPSC対応ライターを使いましょう

平成22年から、いわゆる使い捨てライターや多目的ライターの販売規制が開始されました。平成23年9月27日以降、子供が簡単に操作できない幼児対策(チャイルドレジスタンス機能)が施されたPSC対応ライター以外は販売が禁止されています。

安全のため、子どもが簡単に使えないPSC対応ライターを使いましょう。また、PSC対応ライターであっても、周囲の大人の注意が必要です。

経済産業省 商務流通グループ製品安全課 電話番号 03-3501-4707
規制に関する情報は、経済産業省の製品安全ガイドHPをご覧ください
http://www.meti.go.jp/product_safety/

製品安全ガイド

検索

編集 後記

昨年の3月11日午後2時46分、東日本を突如襲った巨大地震と大津波のことを忘れることはできません。

あの日、死者1万5千人、行方不明者3千人以上という驚愕すべき被害が生じました。同日、東電福島第一原発では恐るべき災厄が発生し、数日のうちに水素爆発、放射性物質の飛散等が相次ぎました◆あの日は日本の「安全神話」も飛散した日。私たちの生き方が、3・11以前と以後というように分かれた日でもありません。

す。今月、あの日から1年目を迎えました◆今月号は「東日本大震災から1年を経て」と題した特集を組みました。このため岩手県、宮城県、福島県の団体長。また茨城県、栃木県、千葉県、東京都の団体長。さらには被災地の園長先生方にもご執筆いただきました。心から感謝申し上げます◆こうした特集はとかく終息宣言と誤解されがちですが、わが全日私幼連の真意は違います。今回の被災地に対する支援は、本当に長く辛抱強く続けなければならぬからです。

(調査広報副委員長・奈良誉夫)

月刊保育雑誌



ISBN978-4-577-81322-5 784

理事長・園長・副園長・主任…保育現場をマネジメントするすべての保育者のために

園の未来をデザインする

保育ナビ

定価 950 円 (税込) B5判 80 ページ

4月号の主な内容

特集 園長が考える、これからの組織づくり
もし「園長」がドラッカーの『マネジメント』を読んだら

- 園の防災・危機管理
- 人材を育てる！ コー칭Plus ほか

ご注文・定期購読のお申し込みは下記まで
03-5395-6608 営業総括部

本社：〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9
<http://www.froebel-kan.co.jp>

キンダーブックの
フーベル館



動画 & ナレーション



デジタルブック

360°ビュー

効果的に園をアピールして
スピーディに入園希望へと
導きます



ホームページ
パワーアップ
オプション



株式会社 チャイルド社 コンピュータ部

〒167-0052 東京都杉並区南荻窪 4-37-15 / TEL.03-3333-2345